

平成 21 年 11 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社 東 和 銀 行  
代表者名 取締役頭取 吉 永 國 光  
(コード番号 8558 東証第一部)  
問合せ先 取締役財務経理部長 田村盛司  
TEL (027) 234 - 1111

平成 22 年 3 月期第 2 四半期の有価証券評価損並びに有価証券含み損に関するお知らせ

1. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期における有価証券評価損

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成 22 年 3 月期第 2 四半期において減損処理による有価証券評価損を計上する必要が生じたのでお知らせします。

	単体	連結
(A)平成 22 年 3 月期第 2 四半期会計期間 (平成 21 年 7 月 1 日から平成 21 年 9 月 30 日まで)の有 価証券評価損の総額 (=イ - 口)	906 百万円	906 百万円
(イ)平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 21 年 4 月 1 日から平成 21 年 9 月 30 日まで)の有 価証券評価損の総額	1,033 百万円	1,033 百万円
(口)直前四半期(平成 22 年 3 月期第 1 四半期)(平 成 21 年 4 月 1 日から平成 21 年 6 月 30 日まで) の有価証券評価損の総額	126 百万円	126 百万円

純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	単体	連結
(B)平成 21 年 3 月期の純資産額	32,818 百万円	38,204 百万円
(A / B × 100)	2.8%	2.4%
(イ / B × 100)	3.1%	2.7%
(C)最近 5 事業年度の平均経常利益額	2,063 百万円	2,451 百万円
(A / C × 100)	43.9%	37.0%
(イ / C × 100)	50.1%	42.1%
(D)最近 5 事業年度の平均当期純利益額	987 百万円	1,039 百万円
(A / D × 100)	91.8%	87.2%
(イ / D × 100)	104.7%	99.4%

(1)上記(A)平成 22 年 3 月期第 2 四半期の有価証券評価損は全て国内株式にかかる  
ものです。

(2)当行の第 2 四半期末は、9 月 30 日であります。

(3)上場有価証券の減損処理につきましては、四半期洗替え法を採用しているため  
平成 22 年 3 月期の期末日の時価等により、有価証券評価損の計上額が変動する  
場合があります。

(4)減損処理基準の概要は次のとおりです。

期末の時価が簿価に比べて 50%以上下落した銘柄は全て減損処理

期末の時価が簿価に比べて 30%以上 50%未満下落した銘柄は回復可能性なし  
と判断したものを減損処理

2. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期末の有価証券含み損

当行の保有する有価証券について、平成 22 年 3 月期第 2 四半期末における有価証券の差引含み損を算出したしました結果、その総額が下記のとおりとなりましたのでお知らせいたします。

(A)平成 22 年 3 月期第 2 四半期末の有価証券差引含み損の総額	821 百万円
(B)最近 5 事業年度の平均経常利益額 (A / B × 100)	2,063 百万円 ( 39.8% )
(C)最近 5 事業年度の平均当期純利益額 (A / C × 100)	987 百万円 ( 83.2% )

(注)

- (1) 「満期保有目的の債券」及び「関連会社株式」のうち、時価を合理的に算定できるものの全てを対象としています。
- (2) 対象有価証券の帳簿価額 114,938 百万円  
時 価 116,539 百万円

(ご参考)

- (1) 当行の第 2 四半期決算期末は、9 月 30 日であります。
- (2) 平成 22 年 3 月期第 2 四半期末における有価証券の含み益及び差引き含み益は以下のとおりです。

(D)平成 22 年 3 月期第 2 四半期末の有価証券含み益の総額	2,422 百万円
(E)平成 22 年 3 月期第 2 四半期末の有価証券差引き含み益の総額(D - A)	1,601 百万円

以上